

村のボランティアさん に インタビュー

VOL. 3

赤十字奉仕団は歴史あるボランティア団体として、全国にある福祉活動団体です。このたび舟橋村の赤十字奉仕団が厚生労働大臣表彰を受けられました。

舟橋村赤十字奉仕団 委員長である古川寿加子さんに、お話を伺いました。



赤十字奉仕団委員長
古川寿加子 さん

Q 赤十字奉仕団の活動は、どのようなことをされていますか。

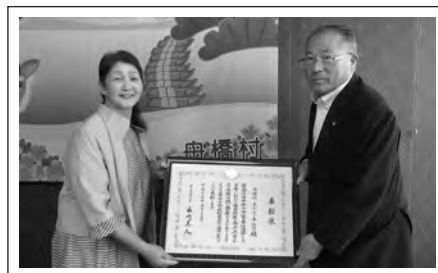
A 義援金の募金活動と高齢者宅訪問、デイサービス等の施設訪問など、高齢者とのふれあい活動です。それから非常時を想定しての炊き出し訓練、同時にカレーライスを提供して村民のみなさんとのふれあいを行っています。年2回の一人暮らしの高齢者宅訪問では、12月は小学生と同伴で行って、とても喜ばれています。それから、団員のスキルアップや親睦も兼ねて年1回の研修会も行っています。

Q 活動をしている中で、大変だったこと、又、うれしかったことを教えてください。

A 大変だと思うことは、自分自身なかなか時間がとれないことや、団員の皆さんも貴重な時間を使って活動してくれているんだということですね。
うれしかったことは、皆様の笑顔と出会えたこと。「ご苦労様、ありがとう。」「また来てください」などの言葉を頂いたときです。お声掛けに対してのこのような言葉は、とても嬉しく励みになります。

Q これからボランティアをしてみたいと思っている方に対して、何かアドバイスなどありましたらお願いします。

A 「させてもらっているという心」が大切ではないでしょうか。自分自身が楽しんでいるというのか、喜びを感じることができることから、始めてみたらいいのではないかと思います。



10月から赤い羽根共同募金が始まります



去年の募金の使い道はどうなりましたか？

地域で集まった募金の約7割がこの地域（舟橋村）で、3割は広域や災害積立のために使われました。広報誌の財源やサロンの助成金、広域助成からは軽四自動車購入の助成がありました。



今年の募金はどうなるのかな？



来年度の福祉事業に使われます。ひきつづきサロンの助成や配食ボランティアたべんまいけのための器材を申請中です。

今年も赤い羽根共同募金運動にご協力をよろしくお願いします。

